

“これから”の鹿児島市 皆さんと一緒に全力でつくっていきます



第21代鹿児島市長
しもづる たかお
下鶴 隆央

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれては、すがすがしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

12月23日に鹿児島市長に就任しました。令和3年の幕開けを、皆さんと一緒に「これから」の鹿児島市をつくっていきましょうと、熱い思いで迎えています。

喫緊の課題は、今なお影響が続く新型コロナウイルス感染症への対策です。市民の皆さんの生命を守り、また地域経済を守るため、感染拡大防止と社会経済活動の両面から、徹底した取り組みを行います。

一方、日々の生活に新しいスタイルが普及する中、身近なパソコンやスマートフォンなどを用いたさまざまなサービスが生まれ、暮らしに浸透しています。

このような「デジタル化」の波を、本格的な人口減少時代を迎える本市が持続的に発展していくため、大きな力にしたいと考えています。医療や福祉、教育、公共交通など、いろいろな分野の市民サービスに効果的に活用し、誰もが生きがいにあふれるまちづくりを進めていきます。

また、若者や子育て世代の皆さんが、本市で暮らし続けたいと思えるような環境を整備していきます。コロナ後を見据え、ICT(情報通信技術)を生かした「稼げる」仕事づくりで雇用を創出していくとともに、保育所の待機児童の解消に向けて、保育人材の確保などあらゆる手段を講じていきます。

これから到来するのは、誰も経験したことのない新しい時代です。子どもたちが豊かな鹿児島市を受け継げるよう、市民の皆さんとしっかり情報を共有しながら、時代の動きに対応した新しいまちづくりを進めます。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

市民の皆さんに

お約束します

100の公約の中から主な項目をご紹介します

I 新型コロナウイルスから市民のいのち、くらし、しごとを守る

1 徹底した感染防止対策と、経済対策を両立させる

- ・ 新型コロナウイルスから市民のいのちを守ります(PCR検査体制の拡充、医療体制の確保など)
- ・ 新型コロナウイルスから医療・介護・障害福祉従事者等を守ります
- ・ 新型コロナウイルスから地域経済を守ります

II 鹿児島に稼げる仕事をつくる

2 コロナ後を見据えた新しい産業・仕事をつくる

- ・ 中小企業振興を推進します
- ・ 積極的な起業支援と戦略的な企業誘致に取り組みます
- ・ 「稼げる」農林水産業づくりに取り組みます

3 世界から観光客を集める

国際都市KAGOSHIMAをつくる

- ・ コロナ後を見据えたインバウンド対応の推進
- ・ 観光資源となる「稼げる」スタジアム整備
- ・ 市電延伸の検討を進めます

4 ICTを活用し、もっと住みよい鹿児島をつくる

- ・ ICT(情報通信技術)関連産業振興に取り組みます
- ・ 新たな技術を政策に積極的に取り入れます
- ・ DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
- ・ 行政手続のデジタル化を進めます

III 全ての人に、希望とチャンスを。安心して生活できる鹿児島をつくる

5 安心できる子育て環境をつくる

- ・ 待機児童ゼロを実現します
- ・ 保育士の確保策を講じます
- ・ 児童相談所の早期整備と機能充実

6 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる

- ・ 教育にIT・インターネットを積極的に活用します
- ・ 青少年の海外派遣、留学支援を広く行います

7 人生100年時代。「持続可能」な

- ・ 生きがいにあふれる福祉
- ・ 疾病予防・介護予防の促進
- ・ 高齢者の生きがい就業

IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる

8 「持続可能」なまちづくり。

- ・ 「持続可能」なくみづくり
- ・ 「持続可能性」を重視しSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みを進めます

9 現在そして将来の課題に

今から対応できる鹿児島をつくる

- ・ 合併地域の均衡ある発展に向けた取り組み
- ・ 新たな総合体育館に関する連携・協力

10 新しい時代。民間のチカラを活かし、

「これからの」鹿児島市政をつくる

- ・ データに基づく政策立案(EPPM)を推進します
- ・ ふるさと納税を集める取り組みを進めます
- ・ 鹿児島市内全域で、市政報告会を開催します